

2026年度シラバス

高等学校 2年



駒沢学園女子高等学校

仏教(2026年度)

単位数	1単位
担当	遠藤 光賢
教科書	駒沢学園の仏教(駒澤学園)
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

駒沢学園の歴史と建学の精神を理解し、仏教主義学校としての理念を学ぶと共に、道徳に替わる教科として宗教に関する一般的な知識と教養を養い、興味・関心を高めることにより、現代社会の諸問題に関する考察力を身に着ける。

〔中期目標〕

学校行事も持つ意義について学び、『修証義』についてどのような内容が記されているのか理解したうえで、現代社会にける問題点と関連させながら、仏教の持つ「生命」や「いのち」という問題について考え、「死生学」的な観点から考えられるようになる。

〔長期目標〕

仏教を基盤とした道徳的な理念を理解し、より良く生きるためにどのように行動すべきか考えられるようになる。あわせて、「いのち」について考え、どのように生きていくことが大切か、各自が自分のこととして考えられるようになる。

2. 副教材・参考書

- ・『駒沢学園の仏教』
- ・DVD・プリントなど
- ・授業において、坐禅・写経・写仏の体験実習を行う。

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

宗教、特に仏教の考え方を通して、自分の生き方、考え方を見直し、「人間」とは「自分」とは何かを考えることが重要である。また、授業中、出される課題に対し、自分なりに考え、字数制限に注意しながら自分の考えが伝わる文章を心掛け取り組むことが大切である。なお提出物については、クオリティより提出期限を重視する。坐禅実習では自身と向き合う時間となるよう、集中して取り組む。

4. 宿題・課題・再試について

- ・授業時に行う課題提出状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は課題を行う。

5. 評価の基準について

- ・単元テストの得点(80%)、提出物と坐禅実習(20%)により評価をする。

評価方法	割合	評価基準
定期試験	80	定期試験の点数
提出物	20	授業ごとのまとめや課題、予習復習内容など

6. その他

・授業内容は、実際の授業時間数などにより、順番が前後したりすることもあります。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	期末	1、「山上忌」について 2、「花まつり」について 3、釈迦の生涯について（1） ・誕生・四門出遊・出家修行・成道・初転法輪・布教活動・入滅までを学習し、釈迦の悩みについて、現代社会での問題と照らし合わせながら考える。 4、ヨガの国際デー ヨガの原点を学び実践する 5、坐禅実習
二学期	期末	1、「追善記念日」について 2、「修証義」について ・「修証義」の成立と現代社会での問題との関連性について考える。 ・第1章～第4章から、日常生活と関わり合いのある部分を抜き出し、意味を考えながら、現代社会での問題点と照らし合わせて考える。 3、「摂心会」と「成道会」について 4、写経・写仏 5、坐禅実習
三学期	学年末	1、「修証義 第5章 行持報恩」について ・意味を考えながら、我々に何を伝えようとしているのかを考える。 2、「涅槃会」について 3、「山上忌」について復習 4、坐禅実習

高2 論理国語(2026年度)進学

単位数	2単位
担当	渡邊(賢)、渡部(佳)、櫻田
教科書	大修館書店『論理国語』
対象生徒	高校2年(進学クラス)

1. 授業の目標

言語活動を通し、論理的に書く力と批判的に読む力の育成を目指す。

- ①基本的な漢字や語彙力を習得し、精読することができるようにする。
- ②自分の意見を持ち、それを他者に伝えることができるようにする。
- ③文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、自分の考えを深めることができるようにする。

2. 副教材・参考書

浜島書店『論理的に読む 論読 現代文1』
尚文出版『常用漢字ダブルクリア五訂版』
大修館書店『トータルサポート 新国語便覧』

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①学習活動・課題に積極的に取り組む。
- ②授業内容を毎時間しっかりとまとめる。
- ③前の時間の学習内容の定着度を測るため、適宜確認テストを実施する。
- ④提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- ①家庭学習の習慣をつけるために、宿題もしくは次の時間の確認テスト等の課題を課す。
- ②再試は定期試験の得点が30点未満のものを対象とする。
- ③教材に応じて家庭学習用の課題を出す。
- ④各学期で予定表に従い、授業内で漢字テストを実施する。
 - ・日常生活で使用する漢字を身につけさせる。
 - ・漢検合格を目指す。
- ⑤1年次から継続して「読書ノート」を作成する。学期に1回、授業内で交換会を開く。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(70%)と提出物・発表・授業内試験(30%)により評価をする。
- ・観点別評価をつける。

6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画			
学期	試験	教科書ページ	授業内容 (教材)
第一 学期	中間	P14～P20 P21 P8～P13	教科書 評論『対話の精神』平田オリザ 書く：言葉を定義する 評論『世界を広げる「批評」の言葉』宇野常寛 『論理的に読む 論読 現代文1』 『常用漢字ダブルクリア五訂版』
	期末	P44～P51 P62～63	教科書 評論『家族化するペット』山田昌弘 書く：統計資料から分析したことを書く 『論理的に読む 論読 現代文1』 『常用漢字ダブルクリア五訂版』
第二 学期	中間	P72～81 P91	教科書 評論『自己をモデル化する知能』石黒浩 書く：立場を明確にして書く 『論理的に読む 論読 現代文1』 『常用漢字ダブルクリア五訂版』
	期末	P157～166 P113 P167	教科書 評論『「方言コスプレ」現象』 書く：情報を集めて分類する 書く：意見を交流する 『論理的に読む 論読 現代文1』 『常用漢字ダブルクリア五訂版』
第三 学期	学年末	P177～187 P201	教科書 評論『社会的実存としての言語・法・貨幣』岩井克人 書く：意見を交流する 『論理的に読む 論読 現代文1』 『常用漢字ダブルクリア五訂版』

高2 論理国語(特進・英語 2026 年度)

単位数	2 単位
担当	穂谷野
教科書	大修館書店『論理国語』
対象生徒	高校2年聖敬組(合同)

1. 授業の目標

言語活動を通して、論理的に書いたり批判的に読んだりする力を育成することを目指す。

- ①基本的な漢字や語彙力を習得し、精読することができるようにする。
- ②自分の意見を持ち、それを他者に伝えることができるようにする。
- ③文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、自分の考えを深めることができるようにする。

2. 副教材・参考書

いいずな書店『四訂版 プログレス 現代文総演習 標準編』
大修館『国語便覧』
尚文出版『常用漢字ダブルクリア四訂版』

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①学習活動・課題に積極的に取り組む。
- ②授業内容を毎時間しっかりとまとめる。
- ③前の時間の学習内容の定着度を測るため、適宜確認テストを実施する。
- ④提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

4. 宿題・課題・再試について

- ①家庭学習の習慣をつけるために、宿題もしくは次の時間の確認テスト等の課題を課す。
- ②再試は定期試験の得点が30点未満のものを対象とする。
- ③教材に応じて家庭学習用の課題を出す。
- ④各学期で予定表に従い、授業内で漢字テストを実施する。
 - ・日常生活で使用する漢字を身につけさせる。
 - ・漢検合格を目指す。
- ⑤1年次から継続して「読書ノート」を作成する。学期に1回、授業内で交換会を開く。
- ⑥一般受験ができる文章読解力を鍛えるために『プログレス 現代文 総演習 発展編』を活用する。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(70%)と提出物・発表・授業内試験(30%)により評価をする。
- ・観点別評価をつける。

6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画			
学期	試験	教科書ページ	授業内容（教材）
第一 学期	中間	P14～P20 P21 P8～P13	教科書 評論『対話の精神』平田オリザ 書く：言葉を定義する 評論『世界を広げる「批評」の言葉』宇野常寛 『四訂版 プロGRESS 現代文総演習 標準編』 『常用漢字ダブルクリア五訂版』
	期末	P44～P51 P62～63	教科書 評論『家族化するペット』山田昌弘 書く：統計資料から分析したことを書く 『四訂版 プロGRESS 現代文総演習 標準編』 『常用漢字ダブルクリア五訂版』
第二 学期	中間	P72～81 P91	教科書 評論『自己をモデル化する知能』石黒浩 書く：立場を明確にして書く 『四訂版 プロGRESS 現代文総演習 標準編』 『常用漢字ダブルクリア五訂版』
	期末	P157～166 P113 P167	教科書 評論『「方言コスプレ」現象』 書く：情報を集めて分類する 書く：意見を交流する 『四訂版 プロGRESS 現代文総演習 標準編』 『常用漢字ダブルクリア五訂版』
第三 学期	学年末	P177～187 P201	教科書 評論『社会的実存としての言語・法・貨幣』岩井克人 書く：意見を交流する 『四訂版 プロGRESS 現代文総演習 標準編』 『常用漢字ダブルクリア五訂版』

単位数	2単位
担当	穂谷野倫子・渡部佳乃子
教科書	『新編古典探究』(東京書籍)
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

- ①古典文学に親しみ、古典の楽しさを実感する。
- ②古典文法の基礎、重要古語、漢文の句法を修得する。
- ③古文・漢文を、文法事項を習得しながら、数多く読みこなす。
- ④古文の精読と速読の両方ができる力を身に付ける。
→SDGsの目標17「住み続けられるまちづくりを」の達成目標11-4「世界の文化遺産や自然遺産を保護し、保っていくための努力を強化する」に繋げていく。

2. 副教材・参考書

第一学習社『ニューフェイズ 古典1』
尚文出版『学ぶぞ古文と漢文 新装版』
尚文出版『学ぶぞ古文と漢文 基本練習ノート』
いっぴいな書店『四訂版 古典単語330』
岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』川村裕子著
大修館『ビジュアルカラー 国語便覧 改訂版』

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①古文・漢文のリズムをつかめるように繰り返し音読させ、学期に一度音読の試験を行う
- ②家庭学習の習慣化と前回学習内容の定着度を測るため、確認テスト・古文単語テストを行う。
- ③予習を習慣化し、復習しやすいノート作りを目指す。

4. 宿題・課題・再試について

- ①家庭学習の習慣化と前回授業内容の定着度を測るため、確認テスト等を行う。
- ②定期試験で得点の低かった分野、特に文法事項については課題を課す。
- ③各定期試験後に必ずノートを提出する。
- ④古典への興味を喚起するためレポート等の自主学習を課す。
- ⑤テキスト宿題を用いて、読解力を高める。
- ⑥週1回、授業内で古文単語テストを実施する。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(70%)と提出物・発表・授業内試験(30%)により評価をする。
- ・観点別評価をつける。

6. その他

- ①授業計画は予定であり、変更することがある。
- ②聖組(特進クラス)の定期試験は進学クラスとは異なる試験を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	古文 説話に親しむ 『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」 (P10~11) 『十訓抄』 「大江山の歌」 (P12~13) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典1』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
	期末	漢文 小話 『世説新語』 「断腸」 (P160) 古文 随筆を読む 『徒然草』 「花は盛りに」 (P24~26) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典1』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
二学期	中間	古文 作り物語を読む 『竹取物語』 「天の羽衣」 (P32~35) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典1』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
	期末	漢文 唐詩と文 『唐詩選』 「静夜思」 (P168) 『唐詩三百首』 「登高」 (P172) 『白氏長慶集』 「八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九」 (P173~174) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典1』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
三学期	学年末	古文 日記を読む 『更級日記』 「門出」 (P58~59) 文『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典1』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』

単位数	2単位
担当	渡部佳乃子
教科書	『新編古典探究』(東京書籍)
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

- ①古典文学に親しみ、古典の楽しさを実感する。
- ②古典文法の基礎、重要古語、漢文の句法を修得する。
- ③古文・漢文を、文法事項を習得しながら、数多く読みこなす。
- ④古文の精読と速読の両方ができる力を身に付ける。
→SDGsの目標17「住み続けられるまちづくりを」の達成目標11-4「世界の文化遺産や自然遺産を保護し、保つていくための努力を強化する」に繋げていく。

2. 副教材・参考書

第一学習社『ニューフェイズ 古典1+』
尚文出版『学ぶぞ古文と漢文 新装版』
尚文出版『学ぶぞ古文と漢文 基本練習ノート』
いっぴいな書店『四訂版 古典単語330』
岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい!生活』川村裕子著
大修館『ビジュアルカラー 国語便覧 改訂版』

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①古文・漢文のリズムをつかめるように繰り返し音読させ、学期に一度音読の試験を行う
- ②家庭学習の習慣化と前回学習内容の定着度を測るため、確認テスト・古文単語テストを行う。
- ③予習を習慣化し、復習しやすいノート作りを目指す。

4. 宿題・課題・再試について

- ①家庭学習の習慣化と前回授業内容の定着度を測るため、確認テスト等を行う。
- ②定期試験で得点の低かった分野、特に文法事項については課題を課す。
- ③各定期試験後に必ずノートを提出する。
- ④古典への興味を喚起するためレポート等の自主学習を課す。
- ⑤テキスト宿題を用いて、読解力を高める。
- ⑥週1回、授業内で古文単語テストを実施する。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(70%)と提出物・発表・授業内試験(30%)により評価をする。
- ・観点別評価をつける。

6. その他

- ①授業計画は予定であり、変更することがある。
- ②聖組(特進クラス)の定期試験は進学クラスとは異なる試験を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	古文 説話に親しむ 『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」 (P10~11) 「空を飛ぶ倉」 (P14~18) 『十訓抄』 「大江山の歌」 (P12~13) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典1+』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
	期末	漢文 小話 『世説新語』 「断腸」 (P160) 古文 随筆を読む 『徒然草』 「花は盛りに」 (P24~26) 「九月二十日のころ」 (P22~23) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典1+』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
二学期	中間	古文 作り物語を読む 『竹取物語』 「天の羽衣」 (P32~35) 「富士の山」 (P36~37) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典1+』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
	期末	漢文 唐詩と文 『唐詩選』 「静夜思」 (P168) 『唐詩三百首』 「登高」 (P172) 『白氏長慶集』 「八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九」 (P173~174) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典1+』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
三学期	学年末	古文 日記を読む 『更級日記』 「門出」 (P58~59) 「物語」 (P60~64) 文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典1+』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』

単位数	2 単位
担当	栗山, 上戸
教科書	高等学校 新公共(第一学習社)
対象生徒	高校 2 年 進学クラス (美～真)

1. 授業の目標

現代の事象を理解するために政治や経済を学び、日々の生活の中でも応用できるような知識と教養を養う。また、授業内においては資料を読み取る力をつけ、現代社会の諸問題、日本と世界のかかわりについて考察していけるようにする。

2. 副教材・参考書

なし

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書に目を通し、重要語句を調べてくることが望ましい。
- ・日々の課題や授業内におけるグループワークには積極的に取り組むこと。
- ・中間試験は実施しない。

4. 宿題・課題・再試について

- ・予習を兼ねた課題が課されることがある。
- ・定期試験は教科書の内容に準じた内容となる。
- ・定期試験の結果が 30 点未満の場合は再試また課題の対象となる。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(60~100%)、課題・発表・提出物・小テスト(0~40%)により評価をする。

6. その他

授業の進行の中で時事問題など、必要に応じて一部をピックアップし、授業内容を変更することがある。

学期		授業内容 (教材)
一学期	学期末	第 1 編 第 1 章 公共的な空間をつくる私たち ・社会に生きる私たち ・個人の尊厳と自主, 自律 ・多様性と共通性 ・伝統文化とのかかわり ・自立した主体をめざして 第 2 章 公共的な空間における人間推してのあり方生き方 ・人間と社会の在り方についての見方, 考え方 第 3 章 公共的な空間における基本原理 ・人間の尊厳と平等, 個人の尊重 ・民主主義と法の支配 ・自由, 権利と責任, 義務 ・日本国憲法に生きる基本的原理 第 2 編 第 1 章 法的な主体となる私たち ・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利, 責任 ・司法参加の意義
二学期	学期末	第 2 編 第 2 章 政治的な主体となる私たち ・政治参加と公正な世論の形成 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障と防衛 (修学旅行事前学習として沖縄戦・戦後から続く諸問題にも触れる) ・国際社会の変化と日本の役割 第 3 章 経済的な主体となる私たち ・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観
三学期	学期末	第 3 章 経済的な主体となる私たち ・市場経済の機能と限界 ・金融の働き ・財政の役割と社会保障 ・経済のグローバル化

単位数	2 単位
担当	上戸
教科書	高等学校 新公共(第一学習社)
対象生徒	高校 2 年 特進クラス・英語クラス

1. 授業の目標

現代の事象を理解するために政治や経済を学び、日々の生活の中でも応用できるような知識と教養を養う。また、授業内においては資料を読み取る力をつけ、現代社会の諸問題、日本と世界のかかわりについて考察していけるようにする。

2. 副教材・参考書

なし

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書に目を通し、重要語句を調べてくることが望ましい。
- ・日々の課題や授業内におけるグループワークには積極的に取り組むこと。
- ・中間試験は実施しない。
- ・教科書の「アプローチ」の箇所についても一部重点的に授業を展開する

4. 宿題・課題・再試について

- ・予習を兼ねた課題が課されることがある。
- ・定期試験は教科書の内容に準じた内容となる。
- ・定期試験の結果が 30 点未満の場合は再試また課題の対象となる。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(60~100%)、課題・発表・提出物・小テスト(0~40%)により評価をする。

6. その他

授業の進行の中で時事問題など、必要に応じて一部をピックアップし、授業内容を変更することがある。

学期		授業内容 (教材)
一学期	学期末	第 1 編 第 1 章 公共的な空間をつくる私たち ・社会に生きる私たち ・個人の尊厳と自主, 自律 ・多様性と共通性 ・伝統文化とのかかわり ・自立した主体をめざして 第 2 章 公共的な空間における人間推してのあり方生き方 ・人間と社会の在り方についての見方, 考え方 第 3 章 公共的な空間における基本原理 ・人間の尊厳と平等, 個人の尊重 ・民主主義と法の支配 ・自由, 権利と責任, 義務 ・日本国憲法に生きる基本的原理 第 2 編 第 1 章 法的な主体となる私たち ・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利, 責任 ・司法参加の意義
二学期	学期末	第 2 編 第 2 章 政治的な主体となる私たち ・政治参加と公正な世論の形成 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障と防衛 (修学旅行事前学習として沖縄戦・戦後から続く諸問題にも触れる) ・国際社会の変化と日本の役割 第 3 章 経済的な主体となる私たち ・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観
三学期	学期末	第 3 章 経済的な主体となる私たち ・市場経済の機能と限界 ・金融の働き ・財政の役割と社会保障 ・経済のグローバル化

数学Ⅱ (2026 年度)

単位数	4 単位
担当	生嶋、小西、二村
教科書	新編数学Ⅱ (数研出版)
対象生徒	高校 2 年進学・特進クラス

1. 授業の目標

式と証明, 複素数と方程式, 図形と方程式, 三角関数, 指数関数・対数関数および微分法・積分法の考えについて理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに, それらを活用する態度を育てる。

2. 副教材・参考書

Study-Up ノート数学Ⅱ+B (数研出版)
 チャート式解法と演習数学演習Ⅱ (数研出版)(特進のみ)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書に目を通し, 例題を解くなど予習をしてから授業に参加することが望ましい。
- ・授業が終わった内容は, Study-Up ノート問題集, 宿題プリントで復習する。疑問点は質問し, 放置しない。

4. 宿題・課題・再試について

- ・Study-Up 問題集を定期試験毎の宿題とし, 提出状況をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・上記以外に必要なに応じてプリントを配布する場合がある。
- ・定期試験の結果が 30 点未満の場合は再試または課題を課す。
- ・チャート式解法と演習数学Ⅱの内容も定期試験の範囲に含める。(特進のみ)

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50%応用問題 30%), 提出物(20%)により評価をする。
- ・観点別評価を行う。

6. その他

- ・授業計画は予定であり, 前後する可能性がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	1 章 式と証明 ・式と計算(3 次式の展開と因数分解, 二項定理, 割り算, 分数式, 恒等式) ・等式・不等式の証明(等式の証明, 不等式の証明) 2 章 複素数と方程式 ・複素数と 2 次方程式の解(解と係数の関係) ・高次方程式(剰余の定理, 因数定理)
	期末	3 章 図形と方程式 ・点と直線(座標, 直線の方程式, 2 直線の関係) ・円(円の方程式, 円と直線, 2 つの円) ・軌跡と領域(軌跡と方程式, 不等式の表す領域)
二学期	中間	4 章 三角関数 ・三角関数(弧度法, 三角関数のグラフ, 三角関数を含む方程式・不等式) ・加法定理(加法定理, 加法定理の応用, 三角関数の合成)
	期末	5 章 指数関数・対数関数 ・指数関数(指数の拡張, 指数関数とそのグラフ) ・対数関数(対数とその性質, 対数関数とそのグラフ, 常用対数)
三学期	学年末	6 章 微分法と積分法 ・微分係数と導関数(微分係数, 導関数とその計算, 接線の方程式) ・関数の値の変化(関数の増減と極大・極小, 関数の増減. グラフの応用) ・積分法(不定積分, 定積分, 定積分と面積)

単位数	2単位
担当	吉田 かつる
教科書	高校物理基礎 (実教出版)
対象生徒	高校2年生(進学)

1. 授業の目標

日常生活や社会との関連を図りながら物理や物理現象への関心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てる。また、物理学の基本的な概念・考え方や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2. 副教材・参考書

- ・物理基礎ドリル (新課程版) 運動と力 (実教出版)
- ・物理基礎ドリル (新課程版) 仕事とエネルギー/熱 (実教出版)
- ・物理基礎ドリル (新課程版) 波/電気 (実教出版)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習, 復習のポイント等

- ・授業中に配布する授業プリントには, メモを取りながら取り組むこと。
- ・各単元の授業が終了したら, 問題集で対応する問題を解いて復習する。分からないところは質問する。

4. 宿題・課題・再試について

- ・問題集から定期的に宿題を課す。
- ・定期試験毎に問題集の提出を求めることがある。提出状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験または課題を課す。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(80%), パフォーマンス(20%)により評価をする。

6. その他

- ・授業計画は予定であり, 状況に応じて授業の進度の前後や変更をする場合がある。

授業計画

学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	1章 物体の運動 1節 運動の表し方 1. 速さとその表し方 2. 等速直線運動 3. 速さと速度・変位 4. 速度の合成と相対速度 5. 加速度 6. 等加速度直線運動
	期末	7. 自由落下運動・鉛直投げ下ろし運動 8. 鉛直投げ上げ運動・水平投射運動 2節 力と運動の法則 9. 力 10. 力の合成・分解 11. 力のつりあい 12. 作用反作用 13. 慣性の法則 14. 15. 運動の法則 16. 運動方程式 17. 摩擦力 18. 圧力と浮力
二学期	中間	2章 エネルギー 1節 運動とエネルギー 19. 仕事 20. 仕事の性質と仕事率 21. 運動エネルギー 22. 位置エネルギー 23. 力学的エネルギーの保存の法則 2節 熱とエネルギー 24. 熱と温度

	期末	<p>25. 温度変化に必要な熱量 26. 熱の移動と比熱の測定 27. 熱と仕事 28. 熱機関の効率</p> <p>3章 波</p> <p>1節 波の性質 29. 波とは何か 30. 波の性質 31. 横波と縦波 32. 波の重ねあわせの原理 33. 定在波 34. 波の反射</p> <p>2節 音と振動 35. 音の伝わり方 36. 弦の振動 37. 気柱の振動</p>
三学期	学年末	<p>4章 電気</p> <p>1節 物質と電流 38. 静電気と電子 39. 電流と電気抵抗 40. 抵抗の接続 41. 抵抗率 42. 電力と電力量 ※エネルギーについて考える</p> <p>2節 磁場と電流 43. 磁場 44. 電磁誘導 45. 変圧と送電 46. 電磁波</p> <p>5章 物理と社会</p> <p>1節 エネルギーとその利用 47. エネルギーの変換と私たちの暮らし 48. 電気エネルギーへの変換 49. 原子核エネルギー 50. 放射線 51. 科学的に判断すること</p>

物理基礎 (2026 年度)

単位数	2 単位
担当	吉田 かおる
教科書	高校物理基礎 (実教出版)
対象生徒	高校 2 年生 (特進)

1. 授業の目標

日常生活や社会との関連を図りながら物理や物理現象への関心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てる。また、物理学の基本的な概念・考え方や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2. 副教材・参考書

- ・物理基礎ドリル (新課程版) 運動と力 (実教出版)
- ・物理基礎ドリル (新課程版) 仕事とエネルギー/熱 (実教出版)
- ・物理基礎ドリル (新課程版) 波/電気 (実教出版)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習, 復習のポイント等

- ・授業中に配布する授業プリントには、メモを取りながら取り組むこと。
- ・各単元の授業が終了したら、問題集で対応する問題を解いて復習する。分からないところは質問する。

4. 宿題・課題・再試について

- ・問題集から定期的に宿題を課す。
- ・定期試験毎に問題集の提出を求めることがある。提出状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験の結果が 30 点未満の場合は再試を受験または課題を課す。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点 (80%), パフォーマンス (20%) により評価をする。

6. その他

- ・授業計画は予定であり、状況に応じて授業の進度の前後や変更をする場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	1 章 物体の運動 1 節 運動の表し方 1. 速さとその表し方 2. 等速直線運動 3. 速さと速度・変位 4. 速度の合成と相対速度 5. 加速度 6. 等加速度直線運動
	期末	7. 自由落下運動・鉛直投げ下ろし運動 8. 鉛直投げ上げ運動・水平投射運動 2 節 力と運動の法則 9. 力 10. 力の合成・分解 11. 力のつりあい 12. 作用反作用 13. 慣性の法則 14. 15. 運動の法則 16. 運動方程式 17. 摩擦力 18. 圧力と浮力
二学期	中間	2 章 エネルギー 1 節 運動とエネルギー 19. 仕事 20. 仕事の性質と仕事率 21. 運動エネルギー 22. 位置エネルギー 23. 力学的エネルギーの保存の法則 2 節 熱とエネルギー 24. 熱と温度

	期末	<p>25. 温度変化に必要な熱量 26. 熱の移動と比熱の測定 27. 熱と仕事 28. 熱機関の効率</p> <p>3章 波</p> <p>1節 波の性質 29. 波とは何か 30. 波の性質 31. 横波と縦波 32. 波の重ねあわせの原理 33. 定在波 34. 波の反射</p> <p>2節 音と振動 35. 音の伝わり方 36. 弦の振動 37. 気柱の振動</p>
三学期	学年末	<p>4章 電気</p> <p>1節 物質と電流 38. 静電気と電子 39. 電流と電気抵抗 40. 抵抗の接続 41. 抵抗率 42. 電力と電力量 ※エネルギーについて考える</p> <p>2節 磁場と電流 43. 磁場 44. 電磁誘導 45. 変圧と送電 46. 電磁波</p> <p>5章 物理と社会</p> <p>1節 エネルギーとその利用 47. エネルギーの変換と私たちの暮らし 48. 電気エネルギーへの変換 49. 原子核エネルギー 50. 放射線 51. 科学的に判断すること</p>

物理基礎(2026年度)

単位数	2単位
担当	荒井
教科書	高校物理基礎(実教出版)
対象生徒	高校2年生(英語クラス)

1. 授業の目標

日常生活や社会との関連を図りながら物理や物理現象への関心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てる。また、物理学の基本的な概念・考え方や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2. 副教材・参考書

- ・物理基礎ドリル(新課程版)運動と力(実教出版)
- ・物理基礎ドリル(新課程版)仕事とエネルギー/熱(実教出版)
- ・物理基礎ドリル(新課程版)波/電気(実教出版)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業中に配布する授業プリントには、メモを取りながら取り組むこと。
- ・各単元の授業が終了したら、問題集で対応する問題を解いて復習する。分からないところは質問する。

4. 宿題・課題・再試について

- ・問題集から宿題を課すことがある。
- ・定期試験毎に授業ノート、授業プリント、問題集の提出を求めることがある。提出状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験または課題を課す。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(80%)、パフォーマンス(20%)により評価をする。

6. その他

- ・授業計画は予定であり、状況に応じて授業の進度の前後や変更をする場合がある。

授業計画

学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	第1章 物体の運動 1節 運動の表し方 1. 速さとその表し方 2. 等速直線運動 3. 速さと速度・変位 4. 速度の合成と相対速度 5. 加速度 6. 等加速度直線運動
	期末	7. 自由落下運動・鉛直投げ下ろし運動 8. 鉛直投げ上げ運動・水平投射運動 2節 力と運動の法則 9. 力 10. 力の合成・分解 11. 力のつりあい 12. 作用反作用 13. 慣性の法則 14. 運動の法則(力と加速度の関係) 15. 運動の法則(質量と加速度の関係). 16. 運動方程式 17. 摩擦力 18. 圧力と浮力
二学期	中間	第2章 エネルギー 1節 運動とエネルギー 19. 仕事 20. 仕事の性質と仕事率 21. 運動エネルギー 22. 位置エネルギー 23. 力学的エネルギーの保存の法則 2節 熱とエネルギー 24. 熱と温度

	<p>期末</p>	<p>25. 温度変化に必要な熱量 26. 熱の移動と比熱の測定 27. 熱と仕事 28. 熱機関の効率</p> <p>第3章 波 1節 波の性質 29. 波とは何か 30. 波の性質 31. 横波と縦波 32. 波の重ねあわせの原理 33. 定在波 34. 波の反射</p>
<p>三学期</p>	<p>学 年 末</p>	<p>2節 音と振動 35. 音の伝わり方 36. 弦の振動 37. 気柱の振動</p> <p>第4章 電気 1節 物質と電流 38. 静電気と電子 39. 電流と電気抵抗 40. 抵抗の接続 41. 抵抗率 42. 電力と電力量 2節 磁場と電流 43. 磁場 44. 電磁誘導 45. 変圧と送電 46. 電磁波</p> <p>第5章 物理と社会 エネルギーとSDGs</p>

体育(2026年度)

単位数	2単位
担当	芦田、小宮
教科書	アクティブスポーツ (大修館書店)
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

スポーツの必要性を十分に理解させ、生涯にわたって各自の健康を考えて、生活に欠かすことのできない重要な一部として位置づけさせる

2. 副教材・参考書

アクティブスポーツ (大修館書店)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

けがや傷害を起こさないように準備運動と整理運動をしっかりと行う。
事故防止に心がけてお互いの安全を確認する習慣をつけさせる

4. 宿題・課題・再試について

実技テストにおいて基準に達していない者は再試を行うこともある

5. 評価の基準について

・実技は80%、提出物を20%にして評価をする。

6. その他

・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は教科書内の別の単元を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	授業内試験	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツテスト 50M走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ ・駒女体操テスト 各競技種目練習 ・クロール及び平泳ぎ25m タイムを計測
二学期	授業内試験	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール パス(アンダーパス・オーバーパス)、スパイク 実技テスト、ゲーム・審判法 ・持久走 900m タイム(3周)を計測 1500m タイム(5周)を計測
三学期	授業内試験	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー パス、ドリブル、シュートなど 実技テスト、ゲーム

保健(2026年度)

単位数	2単位
担当	芦田
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を具体的かつ行動的に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2. 副教材・参考書

教授用参考資料

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

単に1教科だけでなく関連の教材や積極的な学校生活を送れるようにする。
日常生活で健康問題に遭遇した場合に活用できるように自らの心身への興味・関心を促す。

4. 宿題・課題・再試について

定期試験の結果が30点未満の場合は課題を課す。

5. 評価の基準について

・定期試験の得点を80%、提出物を10%、ノート提出を10%にして評価をする。

6. その他

・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は教科書内の別の単元を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法
二学期	期末	ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康
三学期	期末	中高年期と健康 労働災害と健康 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用

音楽Ⅱ (2026 年度)

単位数	2 単位
担当	平田亮介
教科書	高校生の音楽 (教育芸術社)
対象生徒	高校 2 年

1. 授業の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てる。
- (2) 音楽に対する感性をより豊かにし、表現の技能を伸長し、創造的に表現する能力を高める。
- (3) 世界の多様な音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を高める。

2. 副教材・参考書

リコーダーライブラリー

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・歌唱や器楽の授業ではクラスメイトと協力して授業を進めることがあるので協調性を
- ・授業で行った基本的な音楽の知識は授業内小テストでこまめな確認を行う。小テストの前にはプリント学習などを配布するので内容理解に努める。
- ・鑑賞などでは自分の言葉で詳しく書くことを大切にする。

4. 宿題・課題・再試について

提出物は基本的にロイロノートへの提出とする。

実技試験や授業内小テストも定期試験と同様に点数が低い場合は再試を行う場合がある。

5. 評価の基準について

- ・実技試験(70%)、筆記試験(20%)、提出物(10%)により評価をする。各評価の割合は学期によって変動することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	歌唱 日本の歌 (夏は来ぬ 日本語の発音) 器楽 アンサンブル (楽器の音色の重なり カノンの魅力) 鑑賞 ブラームス マーラー ハンスロット (作曲家の苦悩)
	期末	
二学期	中間	歌唱 女声三部合唱 (ハーモニーのバランス 歌詞に込められたおもい) 器楽 リズム (Clapping Quartet No2) 鑑賞 ベルリオーズ ストラヴィンスキー ショスタコーヴィチ
	期末	(ロマン派音楽 原始主義 戦争と音楽) 創作 カノンコードを使った創作 (Garage Band) 楽典 音程
三学期	学年末	歌唱 イタリア歌曲 (言葉の響き 旋律の美しさ Caro mio ben) 器楽 リコーダー (ホールコンサートの実践) 鑑賞 ミュージカル 文学作品と音楽の関り (レ・ミゼラブル)

単位数	2単位
担当	高橋 千草
教科書	美術Ⅱ 光村
対象生徒	高校2年選択B 美術選択者

1. 授業の目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う

2. 副教材・参考書

特になし

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業内で疑問を解決し、計画的に作品を完成できるような姿勢で参加することが望ましい。
- ・授業を欠席した場合は提出期限前までに放課後自主的に不足分を補う事が望ましい。
- ・課題制作の上で試行錯誤しながらも粘り強くチャレンジする姿勢が望ましい。
- ・課題は期限までに完成させ必ず提出する。

4. 宿題・課題について

- ・授業内で完成されない場合は宿題となる。

5. 評価の基準について

- ・各学期の課題（提出物100%）により 評価をする

・以下の表のように観点別評価をつける

	課題（作品）	課題（作品）	学習状況の把握・作品に対する取り組み方
A	対象や事象を捉える造形的な視点について、理解をより深めている。 表現方法を創意工夫し続け、創造的に表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて深く考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を更に練り、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の活動に積極的に取り組もうとしている。
B	対象や事象を捉える造形的な視点について、理解を深めている。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めようとしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。

C	対象や事象を捉える造形的な視点について、理解している。意図に応じて表現し、創造的に表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想をし、自己の価値観で美術や美術文化に対する見方を感じている。	美術や美術文化に関わり表現及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。
	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度

6. その他

授業計画は予定であり進捗状況により課題の増減が起こる事もある。
休校・リモート授業等で授業内容の変更あり

美術Ⅱ授業計画

学期	授業内容
1 学期	デザイン 文房具をモチーフにした色面構成 絵画 静物画 (スケッチ・油彩)
2 学期	1 学期の続き 絵画 デッサン
3 学期	絵画 エンボス版画 映像 コマ撮りアニメーション

人物クロッキーを適時行う

書道Ⅱ(2026年度)

単位数	2
担当	木立 マリコ
教科書	書道Ⅱ (教育図書)
対象生徒	高2 書道選択 32名

1、授業の目標

書の表現と鑑賞の能力を伸ばすとともに、書の文化や伝統を理解する。

書道Ⅰに引き続き、臨書力を養う。

2、学習する上での留意点

2時間の時間配分を考え、できるだけ集中して練習できるようにする。

用具の取り扱いに十分注意する。

3、宿題、課題について

基本的に4時間に1度、作品を提出する。

4、評価の基準について

提出作品により基本となる評価を付ける。

提出作品は全体の八割を占め、残りの二割がノート点と授業態度点。

作品の出来があまり良くなくても、コツコツと努力を重ねている者に関しては考慮する。

2026年度 年間指導計画表

学期	月	時間	教科書ページ	授業内容	指導内容・備考等
一学期	4	4		曹洞宗書道展作品	半紙に4字を書く 書写の復習を兼ねて
	5	4	P.34～P.35 P.52～P.53	行書の古典を学ぶ 大陸文化の摂取と天平の美術	行書とは何かを学ぶ 歴史を各自調べてみる
	6	6	P.34～P.36 P.40～P.45	集王聖教序「大地」 蘭亭序「天朗氣清」	行書作品の鑑賞と臨書 それぞれの特徴をつかむ
	7	4	P.46～P.51	風信帖「風信雲書」	
		計 18			
二学期	8	4	P.24～27	隸書の古典に学ぶ 曹全碑「有志」	隸書の成立・筆遣いを学ぶ
	9	6	P.22～P.23	刻字 好きな字を辞書で調べセラミックボードに転記し、削る。	創作活動
	10	4	P.8～9	草書の古典に学ぶ 書譜「神融筆暢」	草書の成立・筆遣いを学ぶ
	11	6	P.16～P.17	漢字仮名交じりの学習	心の響きを表現する創作活動
	12	4	P.11	寸松庵色紙	
		計 24			
三学期	1	6	P.98～107	仮名の書の世界	日本人としての美意識を磨く
	2	2		高野切第1種	
	3	2		関戸本古今和歌集	
		計 10			

論理・表現Ⅱ (2026年度)

単位数	2 単位
担当	B 本間・Z 山本里・C 丹野・S 稲石・ Spencer Turvey
教科書	Harmony English Logic and Expression II (いいずな書店)
対象生徒	高校 2 年美～聖 (進学) 美～真・(特進) 聖)

・授業の目標

情報や考えなどを論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝えることを目標とする。1 年次の既習事項を基盤に英語の 5 領域のなかの特に 3 領域、「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」において、発信力の強化をはかる。

2. 副教材・参考書

授業内プリント

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・英語で自分の事を表現する楽しさを感じながら勉強する。
- ・既習事項の整理・定着をさせるために授業後の復習を大切にする。
- ・英語を話したり、書いたりするアウトプット活動が多いので、間違いを恐れずに積極的に参加する。

4. 宿題・課題・再試について

- ・文法項目を学んだあと、反復練習と確認のための課題を出す。また、スピーキングやライティング能力を伸ばす為、発表する機会もある。
- ・必要に応じてプリントを配布する。
- ・定期試験の結果が 30 点未満の場合は再試、または課題を課する。

5. 評価の基準について

- ・観点別評価を取り入れる。(予定)
- ・週 2 単位のうち、1 単位は English Speaker との Team Teaching を行う。評価は、それぞれ 50% となる。

6. その他

- ・授業計画は予定である。適宜、既習範囲の復習は内容が変わる場合がある。

学期		課	レッスンタイトル・話題	言語材料	言語のはたらき	
1 学期	期末	2	My Favorite Star	有名人の経歴について説明する	完了形	Description (1)
		4	Talking about Japanese Culture	日本の文化・ものについて話す	受動態	Description (2)
			スピーチをしてみよう!			
2 学期	期末	7	Foods and Culture	食について考える	動名詞	Cause and Effect
		8	ICT and Universal Design	ICT とバリアフリー社会について考える	分詞	Example (2)
		9	World Peace (1)	世界平和に貢献した人々について知る	関係代名詞	Narrative (2)
			ディスカッションをしてみよう!			
3 学期	期末	9	World Peace (2)	世界平和に貢献した人々について知る	関係代名詞	Narrative (2)
		10	Volunteering Abroad	世界の国々について知る	関係副詞	Problem Solving

		ディベートをしてみよう!			
--	--	--------------	--	--	--

授業の流れ 教科書付属の補助プリントを活用し生徒の活動を意識して行う。1レッスンを3時間程度で行う。

①Start-Up : Listening と Dictation

②Interactions: Grammar 導入、Task

③Grammar 練習シートで習った文法事項を用いて、簡単な英作文を作成し、定着させる。

④Write: 授業内または宿題で行い、ロイロを利用して提出。English Speaker が簡単な添削をする。

⑤小テスト: 授業内で行えない場合は宿題・自主課題としてもよい。

単位数	3単位 (English Speakerの教員1+日本人教員2)
担当	松本、Spencer Turvey
教科書	HarmonyⅡ (いっぴな書店)
対象生徒	高校2年(英語クラス)

1. 授業の目標

「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」といった英語のアウトプットを強化する。様々なライティング、スピーチやプレゼンテーション、ディスカッション、ディベートなどを通じて英語の発信力強化を目指す。また、日本・世界の諸問題について考え、英語で自分の意見を述べる。

2. 副教材・参考書

Harmony English Logic and ExpressionⅡ (いっぴな書店) 全クラス共通
 総合英語 Harmony (いっぴな書店)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・英語で自分の事を表現する楽しさを感じながら勉強すること。
- ・文法を定着させるために予習・復習を大切にすること。
- ・英語を話す・書くといったアウトプット活動が多いので、間違いを恐れずに積極的に参加すること。

4. 宿題・課題・再試について

- ・文法項目を学んだあと、反復練習と確認のための課題を出す。また、スピーキングやライティング能力を伸ばすため、発表する機会も活用する。
- ・オリジナルプリントを配布、小テストを実施する。必ずファイリングして繰り返し見直すこと。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験しなければならない。合格点は70点以上とする。

5. 評価の基準について

・授業内試験の点数から10段階で評価する。課題の提出物、授業内小テスト、授業発表も評価内に含む。パフォーマンス評価はEnglish speaker 教員の授業評価を50パーセント、日本人教員の授業内容、試験内容を50パーセントとする。定期試験は毎回行う。定期試験にはNext Stage小テスト範囲も含まれる。

6. 授業計画

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	日本人: Lesson 5 不定詞(1) Lesson 6 不定詞(2) Lesson7 動名詞 Speaking: 災害時の行動、理想の街、veganについて Writing: 地震災害対応マニュアル、市長に懇願の手紙、食べ物の選び方 外国人: Speaking and Writing for EIKEN (Expressing Opinions)
	期末	日本人: Lesson 8 分詞 Lesson 9 関係代名詞 Speaking: バリアフリー社会、世界平和の重要性 Writing: スマホの機能やアプリ、世界平和に貢献した人物 外国人: Speaking and Writing for EIKEN (Expressing Opinions)
	夏休み	世界平和に貢献した人物についての紹介動画を作成
二学期	中間	Lesson 10 関係副詞 Lesson 11 比較 Speaking: 海外ボランティア、各国の健康・医療 Writing: ボランティア活動の意義、日本の健康と医療 外国人: Speaking and Writing for EIKEN (Expressing Opinions)
	期末	日本人: Lesson 12 仮定法 Lesson 13 否定・疑問 Speaking: 偉大な発明、色を表す言葉 Writing: 現在と異なる状況を想像、日本の季節 外国人: Speaking and Writing for EIKEN (Expressing Opinions)
	冬休み	世界のニュースとそれに対する感想を英語で書きスピーチ原稿を作成
三学期	学年末	日本人: Lesson 14 語法 Lesson 15 特殊構文 Speaking: 最近のニュース、充実した生活 Writing: 感想・意見文、自分らしい生き方 外国人: Speaking and Writing for EIKEN (Expressing Opinions)

英語コミュニケーションⅡ (2026年度)

単位数	4単位
担当	濱田
教科書	Landmark Fit English Com. Ⅱ (啓林館)
対象生徒	高校2年進学クラス

1. 授業の目標

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
- ・目的や場面、状況等に応じて外国語でコミュニケーションを図る力を着実に育成(5領域)「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の力をバランスよく育成する。

2. 副教材・参考書

Landmark Fit English Com. Ⅱ サブノート・WORK BOOK (啓林館)
英語4技能型テストへのアプローチ① (数研出版)
Harmony New Edition (いっずな書店)
MIKAN (語彙学習アプリ)

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・新出語の発音練習や教科書音読の際は間違いを恐れずに声を出して積極的に行う。
- ・パフォーマンステストでは課内で学習したことを積極的に活用する。
- ・週1回実施される単語の小テストは事前に自分で十分に学習してから受験をする。
- ・音読テストは読解のパロメーターです。複数回練習をしてから録音に取り掛かること。

4. 宿題・課題・再試について

- ・授業で終わった内容は、サブノート、WORK BOOK、プリント類で復習する。
- ・パフォーマンステストでは正確さだけでなく、積極性も図られるのでしっかり準備取り組みこと。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(80%)、提出物や単語小テストを含むパフォーマンス評価(20%)により評価をする。

6. その他

・授業計画は予定である。適宜、既習範囲の復習は内容が変わる場合がある。

授業計画			
学期	試験	授業内容（教材）	
一学期	中間	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan	4 技能テスト Test 1
		Lesson 2 A Message from Emperor Penguins	
	Describe an animal and explain the feature or an ecological problem it is involved in (more than 30 words)		
	期末	Lesson 4 Seed for the Future	4 技能テスト Test 2 3
Make a speech about your interest or passion. The speech must be in 2minutes.			
夏休み	Op L1 Language Change over Time	4 技能テスト Test 4	
	Writing Test : Find an example of language change and explain how it will change or how it has changed in more than 50 words)		
二学期	中間	Op L2 Letter from a Battlefield	4 技能テスト Test 5
		Write a letter to someone special to you in more than one paragraph.	
	期末	Lesson 6 Edo: A Sustainable Society	4 技能テスト Test 6
		Write about what we waste and make a presentation in groups (more than 5 slides/ each slide more than 30words)	
三学期	学年末	Lesson 8 Our Future with AI	4 技能テスト Test 7
		Write about "Our future with AI" in more than one paragraph and make a presentation on Lollo Card	

英語コミュニケーションⅡ (2026 年度)

単位数	4 単位
担当	稲石
教科書	Landmark English Com. II (啓林館)
対象生徒	高校 2 年 特進クラス

1. 授業の目標

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
- ・英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付ける。

2. 副教材・参考書

Landmark English Com. 2 サブノート (啓林館)
 Landmark English Com. 2 ワークブック (啓林館)
 英語 4 技能型テストへのアプローチ① (教研出版)
 英単語ターゲット 1400 (旺文社)

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書にざっと目を通し、何が書かれているのか、トピックの推測をすることが望ましい。
- ・授業が終わった内容は、サブノート、ワークブックで復習する。
- ・新出語の発音練習や教科書音読の際は間違いを恐れずに声を出して積極的に参加する。
- ・週 1 回実施される単語の小テストは事前に自分で十分に学習してから受験をする。
- ・リプロダクション、パフォーマンステストでは授業内で学習したことを積極的に活用する。
- ・日頃から教科書に親しみ、読解スピードが上がるよう音読、黙読、シャドウイング、サマリーを行う。

4. 宿題・課題・再試について

- ・新出単語は各自発音練習なども繰り返し行う。スピーキングやライティング能力を伸ばす為、発表する
- ・授業で終わった内容は、サブノート、WORK BOOK、プリント類で復習する。
- ・パフォーマンステストでは正確さだけでなく、積極性、内容の適正も図られるのでしっかり準備し取り組むこと。
- ・ターゲット 1400 単語小テストを週 1 程度実施する。日頃から単語を覚える努力を継続すること。
高校 1 年次に

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 60%応用問題 20%)、提出物や単語小テストを含むパフォーマンス評価(20%)により評価をする。応用問題(20%)には、学期に行われる模試の問題、要約、英作文を高校 1 年次に引き続き、定期試験で初見問題の一部として出題予定。

6. その他

- ・授業計画は予定である。適宜、既習範囲の復習は内容が変わる場合がある。

授業計画			
学期	試験	授業内容 (教材)	
一学期	中間	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan	4 技能テスト Test 1
		Tips for Presenting Your Ideas	
	期末	Lesson 2 A Message from Emperor Penguins	4 技能テスト Test 2
		Writing: An animal that is in danger because of climate change.	
	夏休み	Reading1 Selfish Giant	4 技能テスト Test 3

二 学 期	中間	Lesson 5 Language Change over time	4 技能テスト Test 4
		Writing: Give an example of language change over time.	
二 学 期	期末	Lesson 7 Letters from a Battlefield	4 技能テスト Test 5
		Write a letter to someone special to you in more than one paragraph.	
		Reading 2 Gender Equality Is Your issue, Too	
三 学 期	学年末	Lesson 8 Edo: A sustainable Society	4 技能テスト Test 6
		An example of something being reused for a different purposes.	
	春休み		4 技能テスト Test 7

英語コミュニケーションⅡ (2026年度)

単位数	5単位
担当	稲石、Spencer
教科書	Landmark English Com. II (啓林館)
対象生徒	高校2年 英語クラス

1. 授業の目標

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
- ・英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付ける。

2. 副教材・参考書

Landmark English Com. 2 サブノート (啓林館)
 Landmark English Com. 2 ワークブック (啓林館)
 英語4技能型テストへのアプローチ① (数研出版)
 英単語ターゲット1400 (旺文社)

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・新出語の発音練習や教科書音読の際は間違いを恐れずに声を出して積極的に行う。
- ・リプロダクションやパフォーマンステストでは課内で学習したことを積極的に活用する。
- ・日頃から教科書に親しみ、読解スピードが上がるよう音読、黙読、シャドウイング、サマリーを行う。

4. 宿題・課題・再試について

- ・新出単語は各自発音練習なども繰り返し行う。スピーキングやライティング能力を伸ばす為、発表する
- ・授業で終わった内容は、サブノート、WORK BOOK、プリント類で復習する。
- ・パフォーマンステストでは正確さだけではなく、積極性、内容の適正も図られるのでしっかり準備し取り組むこと。
- ・英単語ターゲット小テストを週1回程度で行う。少しずつ継続して単語を覚えるようにすること。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 60%応用問題 10%)、提出物、単語小テスト、オンライン英会話利用状況を含むパフォーマンス評価(30%)により評価をする。学期に行われる模試の問題、要約、英作文を高校1年次に引き続き、定期試験で初見問題の一部として20%の割合で出題する。

6. その他

- ・授業計画は予定である。適宜、既習範囲の復習は内容が変わる場合がある。

授業計画			
学期	試験	授業内容 (教材)	
一学期	中間	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan Part1~4	4技能テスト Test 1
		Writing: The cultural differences between Japan and New Zealand which surprised you. Tips for Presenting Your Ideas	
	期末	Lesson 2 A Message from Emperor Penguins Part1~4 Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle Part1~3	4技能テスト Test 2
		Writing: An animal that is in danger because of climate change. What Japan can be proud of.	
	夏休み	Reading1 The Selfish Giant	4技能テスト Test 3
二学期	中間	Lesson 5 Language Change over Time	4技能テスト Test 4
		Writing: Give an example of language change over time.	

	期末	Lesson 7 Letters from a Battlefield Part1~5 Lesson 4 Seeds for the Future Part1~3	4 技能テスト Test 5
		Write a letter to someone special to you in more than one paragraph.	
	冬休み	Reading2 Gender Equality is Your Issue, Too	
三 学 期	学年末	Lesson8 Edo: A Sustainable Society Part1~5 Lesson10 Our Future with AI Part1~3	4 技能テスト Test 6
		An example of something being reused for a different purposes.	
	春休み		4 技能テスト Test 7

単位数	2単位
担当	稲石
教科書	Cutting Edge Yellow (エミル出版) Next Stage (桐原書店)
対象生徒	高校2年敬の組(英語クラス)

1. 授業の目標

大学入試レベル・英語検定試験対策への英文読解力と語彙・文法知識を段階的に養成していく。

2. 副教材・参考書

授業内のプリント

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書にざっと目を通し、何が書かれているのか、トピックの推測をすることが望ましい。
- ・授業が終わった内容は、自宅でも復習をして、定着を目指す。
- ・新出語の発音練習や教科書音読の際は間違いを恐れずに声を出して積極的に参加する。
- ・週1回実施されるNext Stageは毎週小テストがある。事前に自分で十分に学習してから受験をする。

4. 宿題・課題・再試について

- ・Cutting Edgeは復習が必須。何度も読み直して、スラスラ内容理解できるようにすること。また、長文を実際に読むことを通して、語彙・長文読解ストラテジーを身につけること。
- ・Next Stageは範囲を決めて小テストをする。計画的・反復学習が必要である。学期内の得点が50%以下の生徒対象に再試を実施。

5. 評価の基準

- ・定期試験は各学期で期末試験のみ実施する。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試、または課題を課する。
- ・評価は定期考査80%、提出物等のパフォーマンス評価10%、小テスト10%

6. その他

- ・授業計画は予定である。適宜、既習範囲の復習は内容が変わる場合がある。

学期		Cutting Edge			Next Stage	
		Unit	Chapter	分野・話題	小テスト範囲(問題番号)	
1 学期	期 末	1	1	化学	風邪を治す薬はない	1~29・515~540
			2	物語	43年前	30~75・541~572
			3	文化	塗り絵の効能	106~154・573~597
			4	宇宙	月の研究の歴史	155~178・598~626
	2	2	5	化学	3Dプリンターが途上国を救う	221~250・627~641
			6	文化	男女の服のボタンの位置	251~273・642~659
2 学期	期 末	3	7	文化	トマトの歴史	274~288・660~682
			8	社会	iPodの裏話	284~326・683~704
			9	言語	フランス人と英語	327~351・705~720

			10	環境	プラスチックボトルの村	352～385・721～742
			11	経済	途上国の教育状況	179～195・743～771
			12	生物	ウミガメの能力	196～220・803～832
3 学期	学 年 末	4	13	文化	落書きは犯罪化芸術か	386～427・833～864
			14	経済	労働搾取	428～440・865～896
			15	科学	電気自動車の歴史	441～479・897～928

家庭総合(2026年度)

単位数	2単位
担当	関野・川里・八木
教科書	新家庭総合(実教出版)
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

人が生きていくうえで必要な知識、家庭生活にかかわる基本的な知識を身につける。
 消費者としての意思決定や契約の基礎知識を学習し、自立した消費者として生活していく力を身につける。
 食生活を営むにあたり、栄養・調理の基礎的な知識を習得し、実生活において活用できるようにする。
 衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。
 SDGsの目標
 お金の使い方、契約、消費者の権利と責任について学ぶ。
 栄養のバランス、食品選択について学び、健康で持続可能な食生活を考える。

2. 副教材・参考書

被服教材：「わき縫いなしパンツ [ハーフ丈]」

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- 1 学期：DVD「知っておきたいクレジットカードの基本(教育図書)」
 「ホントにいいね?その契約(東京都消費生活総合センター)」
 「キャッシュレス社会の歩き方(東京都消費生活総合センター)」
- 2 学期：「わき縫いなしパンツ [ハーフ丈]」の製作
- 3 学期：調理実習

4. 宿題・課題・再試について

パフォーマンス評価課題の他、必要に応じてプリントを配付する場合があります。
 定期試験の結果が30点未満の場合は、課題を課す。

5. 評価の基準について

- ・下記により評価する。
- 1 学期：期末試験 80%、課題 20%
- 2 学期：期末試験 80%、作品 20%
- 3 学期：学年末試験 80%、課題 20%

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	第8章 消費行動を考える 1 消費行動と意思決定 2 消費生活の現状と課題 3 消費者の権利と責任 (課題) 消費分野に関する課題プリント 第5章 食生活をつくる 2 私たちの食生活
二学期	期末	第5章 食生活をつくる 3 栄養と食品のかかわり 被服実習 「わき縫いなしパンツ [ハーフ丈]」製作
三学期	学年末	第5章 食生活をつくる 3 栄養と食品のかかわり 4 食品の選び方と安全 (課題) 食生活分野に関する課題プリント 調理実習

単位数	2単位
担当	田村
教科書	
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

プログラミング、プレゼンテーション技術、表計算処理などについて、充実した実習を通して高度かつ専門的な技能の習熟を図り、大学生や社会人となってから探究心を育むために必要なコンピュータスキルを培い、情報技術、プログラミングのよさを認識し、それらを社会で活用する態度と技術を育てる。

2. 副教材・参考書

・参考書「業務改善コンサルタントが教える Excel VBA 自動化のすべて」(技術評論社)
 ※進捗状況および生徒の状況に応じて参考書を変更することがある。

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・進学や就職をして様々な研究や分析を行う際に必要な専門的なプログラミングスキルの修得を目的とする。パソコンを中心としたプログラミング実習を行うので、積極的かつ楽しみながら授業に臨むこと。
- ・スライドの発表を探究課題として課すので、プレゼンテーション技術向上の機会を毎学期用意する。
- ・「情報I」のプログラミングまたはExcel等の実習時において、論理的プロセスを立てプログラムを組んだり関数を活用することが楽しいと感じる者。または「数学」において論理的プロセスに基づき問題に取り組むことが楽しいと感じる者の履修を推奨する(数学が得意でなくても楽しいと感じるのであれば歓迎する)。
- ・大学でのレポート作成への応用や、社会人の7割以上がExcel(表計算ソフト)を業務で利用しており、将来より多くの活用機会があると思われる。この機会にExcelスキルの向上を図りたいと思う者の履修を歓迎する。

4. 宿題・課題・再試について

- ・毎回の授業中にExcelの関数やプログラミング等の実技課題を課す。授業内において実技試験も適宜実施する。中間期末考査は実施しないが、プログラミングやスライド発表の結果次第では追加の課題や再発表を求める場合がある。
- ・上記以外に必要なに応じて試験、課題を追加する場合がある。
- ・定期試験の実施は現時点で想定していないが、必要に応じて実施する可能性がある。

5. 評価の基準について

- ・各学期、実技試験、実技課題・作品、授業で実施する提出課題にて成績を評価する。
- ・パフォーマンス評価は、基本問題(毎回の授業で課す課題)約20%、応用問題(実習・実技試験)を50%、スライド発表やその他の課題等を約30%で評価する。

6. その他

- ・授業計画は予定であり、適宜進捗状況に応じて内容を変更することがある。
- ・授業はパソコンを中心に行い、用途に応じたソフトウェアと参考書を活用する。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	なし	実技: Excel 関数, グラフ作成, VBA プログラミング基礎 探究: PowerPoint もしくは Keynote でプレゼンテーションを行う
二学期	なし	実技: Excel VBA プログラミングを活用した業務改善を想定した実習 探究: PowerPoint もしくは Keynote でプレゼンテーションを行う
三学期	なし	実技: Excel VBA プログラミングを活用した業務改善を想定した実習 探究: PowerPoint もしくは Keynote で SDGz に関するプレゼンテーションを行う

単位数	4 単位
担当	根本, 金森, 上戸
教科書	詳説日本史 (山川出版社)
対象生徒	高校 2 年 (選択Ⅱ A)

1. 授業の目標

- ・日本の社会・文化の特色についての認識を深めることで、歴史的思考力を身につける。
- ・日本の政治・社会の展開や国際的な役割を理解する。
- ・日本がどのような過程を経て現代の姿となったのかを学ぶ。

2. 副教材・参考書

- ・詳説日本史図録 (山川出版社)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

歴史は覚えなければならないことが多く大変です。そして、単語を丸暗記しただけでは意味がありません。物事には必ず「原因」と「結果」があるということを念頭に置き、全体を把握するようにしてゆきましょう。わからないこと、気になったことはそのままにせず、質問する、調べる、考えるということを習慣づけられるようにしましょう。

4. 宿題・課題・再試について

- ・小單元ごとに一問一答形式の課題を配布する。
- ・適宜、定期試験に向けて小テストを実施する。
- ・定期試験で 30 点未満の場合、再試を実施する。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(80%)、課題(10%)・小テスト(10%)により評価をする。
- ・評価基準は授業実施回数等の事情により変更する場合があるが、その際は事前に別途通達する。

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	旧石器時代～飛鳥時代前期 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、文化の特色とその成立の背景について考察させる。
	期末	飛鳥時代後期～平安時代 荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽について考察させる。
二学期	中間	鎌倉時代～南北朝時代 武士の土地支配、東アジアとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。
	期末	室町時代～戦国時代 日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。
三学期	学年末	江戸時代 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、身分制度の形成や儒学の役割に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。

世界史探究(2026年度)

単位数	4単位
担当	山本愛
教科書	詳説世界史(山川出版社)
対象生徒	高校2年 ※選択A

1. 授業の目標

世界の構造や成り立ちを歴史的な視野から考察する力と、他地域の文化を理解し協調していく態度を身に付ける。
また、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。

〔中期目標〕 教科書の内容を理解し、史料を見て考察する力を養う。

〔長期目標〕 講義を通して自らの力で歴史を読み解き、その事象が起こった背景を歴史的な視野と思考で考察する力を養う。

2. 副教材・参考書

- ・新詳 世界史図説(浜島書店)
- ・世界史探究 詳説世界史 スタンダードテスト(山川出版社)

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・積極的な姿勢で授業に臨み、主体的に考えながら学習すること。
- ・現在起こっている出来事と歴史の因果関係等を考察してみることに。

4. 宿題・課題・再試について

- ・学習状況に応じた宿題・課題を随時課す。
- ・合格点に到達しない場合、再試を行うこともある。

5. 評価の基準について

定期試験の得点(80%)、小テスト・課題(20%)により評価をする。

6. その他 ※授業の進行の中で、必要に応じて一部をピックアップし授業内容を変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の世界形成
	期末	
二学期	中間	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国
	期末	
三学期	学年末	第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄

選択 A 化学(2026 年度)

単位数	4 単位
担当	菱山
教科書	化学 vol.1 理論編 vol.2 物質編(東京書籍)
対象生徒	高校 2 年

1. 授業の目標

第 1 学年において基礎科目が既に履修済みである。一般入試に対応できる力をつけさせるため、科学的思考や考察の育成のみでなく、計算力など数学的思考や考察の発展にも力を注ぐ。また、実験に対する知識や報告書作成といった内容も扱う。理論化学分野は計算力の定着、有機化学・無機化学の分野に関しては、単なる暗記にとどまらず、反応機構をきちんと理解した上で反応式を正しく書けることを目標とする。また、SDGs に関する実験を行うことでどのような社会貢献が可能か探求していく。

2. 副教材・参考書

新訂版 リポートノート化学③物質の状態/物質の変化と平衡 ④無機物質 ⑤有機化合物

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

理論分野は、計算問題に重点をおいて進めていくので、数学的な力が必要になる。無機・有機化学分野は単純な暗記に頼らず、反応機構を確認しながら学習を進めていく。さらに実験を行い、レポートにまとめることで理解を深める。内容に関してはどの単元においてもこまめに小テストを行い、理解度の確認を行う。

4. 宿題・課題・再試について

適宜プリントや実験レポートの提出がある。これをパフォーマンス評価として成績に反映させる。

5. 評価の基準

定期テスト 80%、パフォーマンス評価(小テスト・実験レポート・ワーク提出など)20%とする。

6. 授業計画

授業計画は予定であり、多少前後する可能性がある。なお 3 編 化学反応の速さと平衡は夏期セミナー等で扱う。

授業計画		
学期	試験	授業内容
一学期	中間	1 編 物質の状態(1~4 章) ・物質の三態と状態変化 ・気体の性質(ボイルシャルルの法則・気体の状態方程式) ・溶液の性質(沸点上昇・凝固点降下、希薄溶液の性質、コロイド) ・結晶の種類と性質、構造(格子) SDGs: 過冷却を利用したカイロ
	期末	2 編 化学反応とエネルギー(1~2 章) ・反応熱と熱化学方程式、ヘスの法則、結合エネルギー、光とエネルギー ・電池と電気分解 ・反応速度、反応速度式、触媒 ・化学平衡、ルシャトリエの原理、電離平衡、塩と化学平衡
二学期	中間	4 編 無機物質(1~4 章) ・周期表と元素 ・水素と貴ガス、ハロゲンとその化合物、酸素・硫黄とその化合物、窒素・リンとその化合物、炭素・ケイ素とその化合物 ・アルカリ金属とその化合物、2 族元素とその化合物、1, 2 族以外の典型金属元素とその化合物、遷移元素とその化合物、金属イオンの分離と確認
	期末	5 編 有機化合物(1~3 章) ・有機化合物の特徴、分類、命名法 ・炭化水素、元素分析 ・アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸、エステル、油脂、セッケンの性質
三学期	学年末	5 編 有機化合物(4~5 章)、6 編 高分子化合物(1~3 章) ・芳香族炭化水素、酸素・窒素を含む芳香族化合物の性質、有機化合物の分離 ・有機化合物と人間生活 ・高分子の分類と特徴 ・糖類、アミノ酸、タンパク質、核酸 ・合成繊維、合成樹脂、ゴム ・機能性高分子 SDGs: カゼインプラスチックの合成 SDGs: 機能性高分子の利用

数学B (2026 年度)

単位数	2 単位
担当	二村
教科書	新編数学B (数研出版)
対象生徒	高校 2 年 選択 B

1. 授業の目標

数列, 統計的な推測について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 数学と社会生活の関わりについて認識を深める。また, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。

2. 副教材・参考書

Study-Up ノート数学II + B (数研出版)
 チャート式解法と演習数学演習II + B (数研出版)(特進のみ)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書に目を通し, 例題を解くなど予習をしてから授業に参加することが望ましい。
- ・授業が終わった内容は, Study-Up ノート, 宿題プリントで復習する。疑問点は質問し, 放置しない。

4. 宿題・課題・再試について

- ・Study-Up 問題集を定期試験毎の宿題とし, 提出状況をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・上記以外に必要なに応じてプリントを配布する場合がある。
- ・定期試験の結果が 30 点未満の場合は再試または課題を課す。
- ・チャート式解法と演習数学II + B の内容も定期試験の範囲に含めることがある。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50%応用問題 30%), 提出物(20%)により評価をする。
- ・観点別評価を行う。

6. その他

- ・授業計画は予定であり, 前後する可能性がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	第1章 数列 ・等差数列と等比数列(数列と一般項, 等差数列, 等差数列の和, 等比数列, 等比数列の和)
	期末	・いろいろな数列(和の記号 Σ , 階差数列, いろいろな数列の和)
二学期	中間	・漸化式と数学的帰納法(漸化式, 数学的帰納法) 第2章 統計的な推測 ・確率分布(確率変数と確率分布, 確率変数の期待値と分散, 確率変数の和と積)
	期末	・確率分布(二項分布, 正規分布)
三学期	学年末	・統計的な推測(母集団と標本, 標本平均の分布, 推定, 仮説検定)

単位数	2単位
担当	濱田 Runa Trinh
教科書	『大学入試4技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング』『Interactive 4 Skills ① CEFR A2 LEVEL/B1 LEVEL』(旺文社)
対象生徒	高校2年 選択B

1. 授業の目標

大学入試共通テストでは、リーディング 100 点＋リスニング 100 点の配点となり、さまざまなタイプの文章からの的確に情報を読み取る力が一層求められている。さらに、英語の民間試験を利用する大学は《推薦・AO 入試》《一般入試》ともに増加している。英検 2 級・準 2 級プラス・準 2 級・3 級についても、近年の出題傾向の変化に合わせ、授業内容を構成している。

当講座では、一年次から取り組んできた外部英語試験に十分対応できるよう、アウトプット中心の演習を通して 4 技能、特にライティングとスピーキングを強化する。また、プレイスメントテストを行い、習熟度に合わせて 2 クラスに分けて授業を展開する。使用する教科書は外部試験で頻出するテーマやスタイルに特化しており、段階的に試験形式に慣れることができるよう工夫されている。さらに、海外の英語学習サイトの教材を活用し、最新ニュースを題材にリスニングやリーディング力の向上も図る。

2. 副教材・参考書

『大学入試4技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング・別冊まとめノート』(旺文社)
 『大学入試4技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング』付属 CD
 MIKAN (語彙学習アプリ)
 CNNE(英語のニュースを使った学習)

3. 評価の基準について

評価:定期試験[期末 x0.5]の点数に平常点(パフォーマンス課題、提出物・タスクワーク、Composition、検定点)を加え評価する。

4. 学習を行う上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

目標とする検定級を定め、学習に取り組み、計画的に受験する。

5. 宿題・課題・再試について

授業で扱った素材について復習を行い、内容把握の確認をすることがある。
 授業内にライティングテストを随時実施する。
 既習文法事項の定着を確認し、評価する。

		JT 担当	ALT (4skills/SPEAKING&WRITING)
一学期	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 4skills :L1/L2/L3/L4/L5 ● 「大学入試 4 技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング Class A コアトレ :L1-L5 Class B コアトレ :L24-28 ライティング演習 (AI 診断) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語で他己紹介ビデオ作り(パフォーマンス) introducing your friend in a movie-style ● 4skills (Writing/Speaking) Class A 4skills :L1/L2/L3 Class B 4skills :L1/L5/L6 Writing に関しては授業ごとに復習テストが行われる。
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ● 4skills :L1/L2/L3/L4/L5 ● 検定対策演習問題 	Listening TEST 15 点 筆記試験 35 点
二学期	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 4skills :L6/L7/L8/L9/L10 ● 「大学入試 4 技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング Class A コアトレ :L6-L16 Class B コアトレ :L29-39 ライティング演習 (AI 診断) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語で他己紹介ビデオ作り(パフォーマンス) introducing your friend in a movie-style ● 4skills (Writing/Speaking) Class A 4skills :L7/L8/L9/L10/ Class B 4skills :A2 L9/L10/ B1 L1/L2/L3/L4 ● Writing に関しては授業ごとに復習テストが行われる。
	期末	<ul style="list-style-type: none"> ● 4skills :L6/L7/L8/L9/L10 ● 検定対策演習問題 	
三学期	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 4skills :B1 L1 /L2 /L3 ● 「大学入試 4 技能試験対応 基礎力養成コア表現トレーニング Class A コアトレ :L17-L20 Class B コアトレ :L40-50 ライティング演習 (AI 診断) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 英検対策 Writing Comprehension ● 英検対策 interview Class A Class B クラスごとに違い題材
	学年末	<ul style="list-style-type: none"> ● 4skills :B1 L1 /L2 /L3 ● 検定対策演習問題 	

単位数	1単位
担当	学年教員全員
教科書	なし
対象生徒	高校2年

1. 授業の目標

人生のターニングポイントで、自分の満足し得る選択肢を見出すことが出来る力＝「人生を切り拓く力」を身に付ける。5つの分野（コミュニケーションスキル・キャリアプラン・マネープラン・ウイメンズライフ・ジェンダー）の活動を行う。

2. 副教材・参考書

『アンガーマネジメント2』

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①グループワーク（協働型学習）が、中心になるため、他の人の話をよく聞き、協力する姿勢を大切にする。
- ②自分の考えをまとめて発表する活動では、人に伝わるように留意する。
- ③提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

4. 宿題・課題・再試について

各活動で課題が必ず出される。

5. 評価の基準について

発表及び提出課題で評価をつける。各学期は5段階で評価し、学年末には「総合的な探究の時間」として Komajo Quest と総合して A・B・C の3段階の評価をつける。

6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画	
学期	授業内容（教材）
一学期	キャリアプラン 世界で活躍した女性たち発表 女性の働く環境を考える マネープラン 人生ゲーム
二学期	コミュニケーションスキル アンガーマネジメント2 ジェンダー ジェンダーをテーマにディベートをしてみよう ウイメンズライフ 助産師・産婦人科医講演会
三学期	キャリアプラン 生き方を考える講演会 自己PR&SDGs

単位数	1 単位
担当	学年教員全員
教科書	なし
対象生徒	高校 2 年

1. 授業の目標

プロジェクトを進め、将来生きていく上で必要な力を身につける。

「思考力や判断力、表現力」「さまざまな人々と協働して学ぶ態度」などの、新しい大学入試や社会で必要な力が自然に身につけていく。

2. 副教材・参考書

なし

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

①総合型選抜の探究型受験を視野に入れ、自分の得意(強み)や好きなことを探究していく。

②知的好奇心を持ち、主体的に活動する。

③自分の考えをまとめて発表する活動では、他者に伝わるよう留意する。

④提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

4. 宿題・課題・再試について

各活動で課題が必ず出される。

5. 評価の基準について

発表及び提出課題で評価をつける。各学期は 5 段階で評価し、学年末には「総合的な探究の時間」としてライフデザインと総合して A・B・C の 3 段階の評価をつける。

6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画	
学期	授業内容 (教材)
一学期	My Favorite Project (sptep1) ・ 目標設定、好きを見つける ・ 調査の方法を学ぶ
二学期	My Favorite Project (sptep2) ・ テーマ探究と発表の方法を学ぶ ・ プレゼンの方法を学ぶ(外部講師)
三学期	My Favorite Project (sptep3) ・ 探究内容を伝える ・ 1 年間の総まとめ